

当財団について	大川賞	大川出版賞
> 国内研究助成	> 海外研究助成	
<h2>国内研究助成について</h2>		
情報通信分野において、独創性のある、先進的または社会的に有用な調査・研究に対して助成を行い		
<h2>助成対象者</h2>		
日本国内の情報・通信分野に関連する研究機関、教育機関に所属する研究者		
<h2>助成金額</h2>		
1件あたり120万円		
<h2>研究助成分野とキーワード</h2>		
<h3>1. 基礎分野</h3>		
計算量理論、アルゴリズム理論、暗号理論、情報理論、機械学習理論、統計的学習理論、符号理論、信理論、ゲーム理論等		
<h3>2. 通信・ネットワーク・システム分野</h3>		
インターネット、ネットワークアーキテクチャ、ネットワークプロトコル、ユビキタスネットワーク、センサーネットワーク、IoT、サイバーセキュリティ、Web技術、サービス構築基盤技術、ネット通信、宇宙通信、光通信、量子通信、量子コンピュータ、量子インターネット、ハイパフォーマンス、分散コンピューティング、プログラミング言語、ウェアブルコンピューティング、クラウドコン端ICデバイス等		
<h3>3. 人工知能・脳科学分野</h3>		
認知・記憶・学習、思考・推論・問題解決、感性、教育、複雑系、脳計算科学、生成AIファウンダー言語モデル、マルチモーダルモデル、フィジカルAI、感情コンピューティング、アドバンス・インテ		
<h3>4. VR・AR・ロボット・知覚情報処理分野</h3>		
知覚（視覚、聴覚、触覚）、情報メディア、パターン認識、知能ロボット、ヒューマン・コンピュー（ユーザビリティ、五感情報処理等を含む）、サイバーフィジカルシステム、デジタルツイン、デジタルアート、エンタテインメント等		
<h3>5. バイオ・医療・ライフサイエンス分野</h3>		

バイオインフォマティクス、オミクスデータ解析、計算生物学、システム生物学、合成生物学、計算含む) 治療、メディカルインフォマティクス等

6. 教育・福祉・ウェルビーイング分野

エドテック、ヘルスケア、QoL、生活習慣改善援助、介護支援、防災・減災・復興支援、ライフログ等

7. 人文・社会科学分野

デジタルヒューマニティーズ、情報法、情報経済、ソーシャルメディア、コミュニケーション、著作権取引、アーカイブ、ブロックチェーン、AI-ELSI (倫理的・法的・社会的課題)、デジタル社会の課題、芸術、社会情報学、計算社会科学等

8. 応用分野

スマート社会 (スマートアグリカルチャー、スマートグリッド、スマートモビリティ等)、スポーツなど、1~7に含まれないその他の応用分野

選考について

学識経験者からなる研究助成審査委員会において、中立的な立場から厳正なる審査・選考を行います

助成金の使途

原則として申請時の支出計画に基づいて使用するものとします。

研究期間

原則として1年間

研究成果の報告について

研究成果の概要と会計を別途定める様式にしたがって提出していただきます。
なお、助成金による研究調査の結果生じた特許権、著作権は、原則として研究者に帰属するものと

国内研究助成応募要領

海外における研究助成について

財団の指定する大学に所属している情報通信分野の研究者に対して助成を行います。応募には所属大

財団が指定する大学に所属する研究者が助成対象となる。申請には所属機関の学長等の推薦を必要とし、審査委員会で助成対象者が選定されます。

助成金額

1件あたり120万円（中国・韓国） / 1万ドル（米国）

助成対象機関

財団が指定する機関は下記の通りです。

米国

カリフォルニア大学バークレー校
スタンフォード大学
カリフォルニア大学ロサンゼルス校
南カリフォルニア大学
カリフォルニア工科大学
カーネギーメロン大学

中国

北京大学
清華大学
復旦大学
上海交通大学

HOME

- NEWS

当財団について

- 設立の趣旨
- 大川功について
- 理事長挨拶

情報公開等

- 定款等・財務情報

大川賞

- 大川賞について
- 大川賞受賞者
- 大川賞推薦要領

大川出版賞

- 大川出版賞について
- 大川出版賞受賞図書
- 大川出版賞推薦要領

研究助成

- 研究助成について
- これまでの研究助成対象者
- 研究助成応募要領（国内）

Copyright 2026 The Okawa Foundation for Information & Communication